

各位

2025年4月22日

会 社 名 株式会社明豊エンタープライズ
代 表 者 名 代表取締役会長 矢吹 満
(コード番号：8927 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役専務執行役員 安田 俊治
(TEL 03-5434-7653)

2025年7月期 第2四半期 決算補足資料（質疑応答集）

この質疑応答集は、2025年3月17日に発表いたしました2025年7月期 第2四半期決算について、当社で想定していました質問と株主、投資家などの方々との質疑応答の主なものをまとめております。本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

Q1 上期の売上高が通年予想の4割ほどですが、下期の売上高は上期を上回る予定ですか。

A 2025年7月期通年の売上高予想29,000百万円のうち、約6割が下半期に含まれるものになります。

Q2 前年度と比較して、売上高8.1%増・営業利益23.5%減・経常利益39.6%減（2Q時点）ですが、売上高が増加しているにも関わらず、利益が減少しているのはどのような理由ですか。

A 各取引の特徴により売上高・利益率にバラつきがあるため、販売棟数と利益額に差が生じる場合がございます。

Q3 開発前の事業用地を売却するケースが増えてきたようですがどのような理由ですか。

A 事業展開の方法については幅広く検討しており、開発事業用地の売却も当社の事業展開のひとつと捉えています。売価の価格変動リスクの低減、資金回収期間の短縮化の観点等から土地での譲渡が最善と判断したものについて売却を行っております。

Q4 物件販売の進捗状況はどうですか。売却予定のうちどの程度が契約済みですか。

A 今期予定している販売物件は概ね契約を完了しており、業績予測の達成に向け順調に推移しております。

Q5 為替や金利の変動による国内・海外投資家の不動産に対する投資動向に変化はみられますか。

A 現時点では、変化はございません。

Q6 配当方針について、安定的な配当を維持する方針はありますか。また、株主優待制度を導入する予定はありますか。

A 当社は継続的な成長に必要な内部留保の充実を考慮したうえで、安定した配当を継続することを基本方針としており、今期の配当予想は1株あたり11円(中間配当5.5円、期末配当5.5円)を予定しております。また、株主還元策として、配当金による還元を基本としておりますが、株主優待制度を含めた他の株主還元方法については引き続き検討を行ってまいります。

以上

【免責事項】当社が開示する資料に記載されている将来の業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。

Q7 2025年2月に台湾で現地法人「東京明豊開発股份有限公司」が営業開始されていますが目的や活動内容はどのようなものですか？

A

これまで台湾における営業活動は、出張でのセミナーや個別商談が中心でしたが、「東京明豊開発股份有限公司」の設立により、現地のエージェントや不動産会社、投資家との長期的な関係構築が可能となりました。これにより、より柔軟かつ継続的な営業活動を展開し、台湾での販売力強化を図ります。また、台湾市場を足掛かりにアジア圏における販売活動を一層強化してまいります。

以上

お知らせ

株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション機会を設けることを目的とし、IRサイト内に「Quick Answer」コンテンツを設置しています。多くの株主・投資家の皆さまからいただいたご質問や、当社からお届けしたい情報を公開しています。

クイックアンサー

Quick Answer



URL : <https://meiho-est.com/ir/ir-qa/>

【免責事項】当社が開示する資料に記載されている将来の業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。